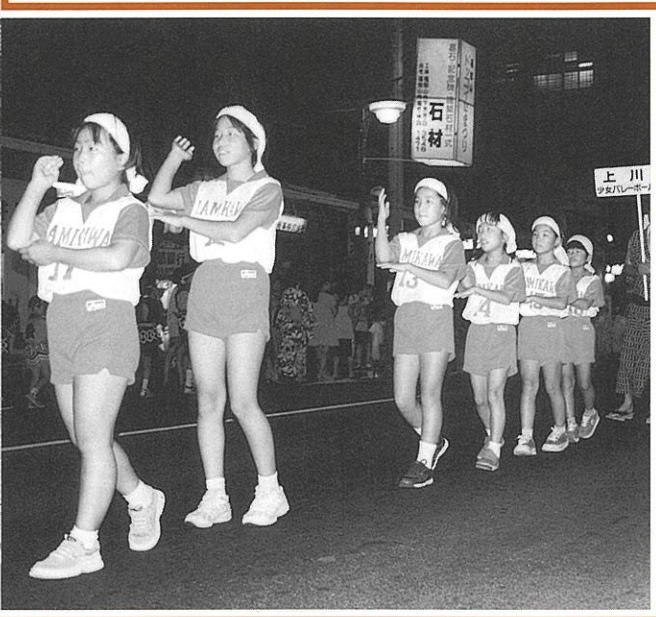




暑い夏も元気に頑張りました



6月定例市議会の概要

6月定例市議会は28日から7月18日までの21日間にわたって開催された。この議会には「平成12年度一般会計補正予算」など6議案が提出され、審議の結果、いずれも原案どおり可決した。また、教育委員の任命と、公平委員、固定資産評価審査委員会委員の選任について、それぞれ同意するとともに、意見書1件を採択した。

◆補正予算

一般会計で、中山間地域総合整備事業に要する経費など1,926万5千円を補正し、補正後の総額を265億5,926万5千円とした。また、老人保健医療事業特別会計では、過年度分の支払基金の返還金544万4千円を追加し、補正後の総額を58億4,288万3千円とした。

◆条例

固定資産評価審査委員会条例の一部改正のほか、消防団員の退職報償金の改定など。

◆工事請負契約の締結について

公共下水道事業福知山終末処理場B系水処理施設増設工事
3億3,810万円

◆人事議案

- 教育委員
藤林 稔氏（談、67才、再任）
- 公平委員
芦田禮一氏（八幡市男山、71才、再任）
田邊一彦氏（印内、68才、再任）
- 固定資産評価審査委員会委員
谷村紘一氏（下新、59才、再任）

◎国へ提出した意見書

道路特定財源制度堅持と道路整備に関する意見書（8ページに掲載）

一般質問

(6月定例会)

公明党議員団

小野 喜年
今次 淳一

廃屋に対する行政の見解は

問 市街地・中山間地を問わず、手入れをされていない空家が多くあるが、安全環境の点から行政も積極的ににかかわるべきでは。

答 建築基準法により、知事は持ち主に対して協議することはできないが、難しい問題であり、都会の人に帰ってきてもらえる整備の充実をはかっていきたい。

無認可保育所の把握と助成金

問 共働き夫婦、核家族の増加とともに、無認可保育所も各所にできたと、箇所数と入所者数は。

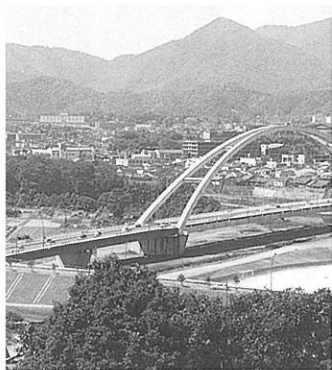
答 届出の義務がないのでつかみにくく助成も出来ないが、一応研究をしてみたい。

城山猪崎城からの眺望対策

問 城山から市街地方面の眺望はす

ばらしいが、三段池側は近くにある高木で見ることができない。伐採して景観を確保する考えは。

答 平成10年度に桜の記念植樹を行い、良い公園になってきている。視界を遮っている樹木を伐採する整備は、私有地もあり困難。



城山からの眺望

市役所周辺外構の庭園管理

問 前面道路側の法面に除草剤を撒き、荒れた状態になっているが、使用についての管理は。また、庭園に花壇を設けて季節の花を植えてはどうか。

答 毒性の少ない除草剤を使用しているが、今後は注意をする。庭園は緑を基調としているが、ボランティアの協力があれば考える。

有料指定ごみ袋による、ごみ収集の実施に伴う緩和策について

問 市民の負担を軽減するためにペットボトルの回収をしては。

答 ペットボトルだけを別に収集することは難しい。

問 資源ごみの収集をする考えは。分別をする意味から、資源ごみとして回収してはと思う。

答 資源ごみの分別収集は。分別をする意味から、資源ごみとして回収してはと思う。

問 トレーを含むビニール・プラスチックごみの分別収集は。

答 計画しているリサイクルプラザを早く完成し、実施したい。

福政会

福知山市民病院の改築について

問 市民病院を改築される理由は何

答 電気生ごみ処理機は購入に7、8万円かかる。その内どれくらい助成するか、現在検討している。予算化も必要なので、金額についてはもう少し待ってもらいたい。

チャイルドシートについて

問 チャイルドシートの購入費助成や、無料貸し出し制度を考えているか。

答 貸し出しのあり方も含めて担当課で研究を進めている。

高齢者など65以上の課題について

問 徘徊高齢者を見つけ出す位置探索システムの導入は。

答 本市の痴ほう症老人は60名。今後、研究してみたい。

問 高齢社会を迎えて、中途失聴や難聴になる人が増加傾向にある。筆談の案内板設置の考えは。

答 病院の方と相談をして検討をしてみたい。

- | | |
|-------|-------|
| 片山 照雄 | 和泉 幸子 |
| 荒木 治清 | 芦田 弘夫 |
| 武田 光正 | 野田 勝康 |
| 大西 肇 | |

答 築後30年を経過し、耐震的にも問題があり、国より移譲後は



入・来院患者数も大幅に増えた。さらに、高度な医療機器の導入に際し、そのスペースにも事欠く状況である。

問 本計画には相当な財源が必要と聞いているが、その財源措置は。

答 有利な起債を検討している。国に対しても補助金をお願いするつもりである。

介護保険導入後の現状と課題

問 第二次判定を行う医師の負担について本市の考えは。

答 事前準備にかなりの時間を要していると聞く。担当医の方に深く感謝している。

問 二次判定を担当する医師への支払額は。

答 1回につき1万7千200円である。

問 一次判定と二次判定の介護度の変更率は何パーセントか。

答 約24%の変更率である。

問 身体介護、家事介護の中味と単価はどのようなものか。

答 身体介護は受介護者身体にかかわること、単価は三十分以上

一時間未満、4,020円、家事介護は主に家事で、単価は前者同様時間で1,530円が概況。

ごみ有料化の実施に向けて

問 有料化の実施時期はいつか。また、その際10枚入りごみ袋（燃やさないごみ用45リットル）をいくらで販売するつもりか。

答 実施は、来年2月からを予定している。9月議会でも条例化した。ごみ袋の販売価格については、現在検討中である。

問 新焼却炉を旧焼却炉と比較した場合、人件費・光熱水費はそれぞれいくらか。

答 旧焼却炉は人件費4千万円・光熱水費3千万円だった。新焼却炉の場合は、それぞれ7千5百万円・8千5百万円である。

市町村合併に対する見解は

問 国は地方における市町村の合併を促進している。市町村合併に

関する本市の見解は。

答 合併するかどうかは、住民が決めることだ。例えば、近隣各町で議会決議があった場合は、検討しなければならないだろう。

市民活動への支援施策について

問 本市には様々な市民組織が存在する。しかし、活動団体によっては苦しい運営を余儀なくされている。このような団体に支援施策を充実する考えは。

答 支援をしたのでは本来のボランティアでなくなるのではない

地方分権整備法と自治会長

問 分権法が施行されたが自治会長の業務、責任度が変わるか。また、自治会長は住民組織の万般の要として地域と行政の主要なパイプ役を果している。社会的位置付けについての考えは。

答 地方分権下になっても従来と変わらない。また、自治会長の皆さんに行政遂行に多大の貢献と協力

新政会

平成11年度監査結果報告を受けて

問 11年度監査結果報告の受けとめ方と今後の対応は。

答 企画会議や管理課長会議の中で指摘事項を伝達し、職員一人ひとり

をいただいている。

国道429号畑中地区の改修促進は

問 道路改修に伴う家屋移転先が農地転用の規制に阻まれ、進まない。上豊富保育園や民家の早急な移転の見直しはどうか。

答 精力的に進めている。

問 市道と久市新庄線の国道9号以西の狭隘区間の拡幅は。

答 国道9号の改修がらみで難しい。

福祉自動車の運行について

問 医療機関や買物に地理的、家庭的状況で行けない人の便の確保は。また、地域で考えた場合の助成は。

答 車椅子も入る軽自動車を検討中。現在のところ、助成は考えていない。

- 井上 重典 穂田 司正
- 森田 泰英 松本 良彦
- 田中 泰治 加藤 弘道
- 塩見 仁 田淵 弘

が厳正な問題として、同じことを言わないよう十分留意していく。

公金の収納状況について

問 長引く不況の中、昨年の市税全体の収納率の伸び率は対前年比

4・16%下回っているが本年はどうか。

答 市税全体としては97・7%の収納率で、前年より0・3%ダウンしている。特別土地保有税を除けば98・2%となり、対前年比0・1%向上している。徴収についてはアップ率向上に努めていかねばならない。

市内郵便官署における市公金の取り扱いについて

問 10月より介護保険料の年金引き落としによる納付が始まるが郵便局口座よりの自動振替制度導入の考えは。

答 郵便局の取り扱いは手数料が高く、処理日数が長い等の問題があり、現在のところでは考えていない。

集会施設等の整備について

問 住民自治組織の拠点施設（公民館）の整備状況は。

答 順次改良を進めている。特に水酸化など多額の費用もかかり大変だ。緊急の度合いを考え要望に答えたい。

福祉行政について

問 保育所施設の整備充実に向けての考えは。

答 上六人部保育園用地は確保できて

いるが、建物は補助金がない限り市単費では困難である。上川口保育園は12年度予算で便所の水洗化をしたい。私立の保育園へき地保育園は、国・府の補助基準に基づき支援する。

問 障害者・高齢者の福祉対策の基本的な考えは。

答 歩道の段差解消、音響信号機の設定など今後の重要な問題と考えている。社会全体で支えられる仕組みの定着が当面の課題である。

問 社協に委託される外出支援サービスの進捗状況は。

答 移送車の車種を選定し、購入準備に入っている。早い時期に実施できよう努めたい。

災害復旧について

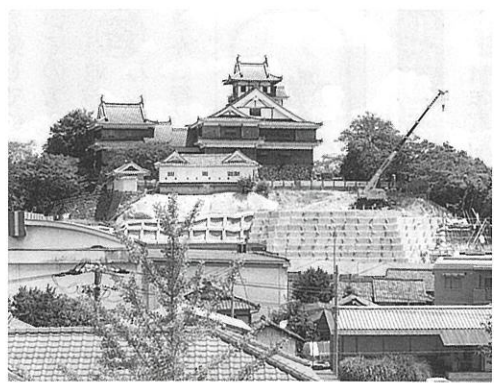
問 平成11年6月・9月の大雨による災害の教訓は。

答 各部連携をとりながら情報を早く消防団等に知らせ、市民を安全に避難、誘導することが今後の課題である。

問 福知山城公園の復旧状況は。

答 法面の工事は一応終了しているが、景観に合った石積み工事を

今年度完成に向け進めている。東側の石積みはそのまま残し、十分配慮しながら補修をしていきたい。



福知山城公園の復旧状況

農林行政について

問 営農組合等を結成されている農区数と転作面積は。

答 13農区で、総面積72haのうち麦31ha・小豆13ha・飼料作物10haが主なものとなっている。

問 水田農業経営確立対策計画推進事業の地区計画の進捗状況と今後の指導の考えは。

答 137農区のうち、115農区が策定済みで話し合いに時間をかけている。13年度からは、水稲の作付面積が配分方式になり地区計画の重要性が高く、話し合いが継続されるよう

支援を強化していきたい。

問 中山間地域等直接支払制度について、知事特認の地域指定はどうか。

答 府の配分面積及び予算の範囲内であることから、営農組織が確立されている上豊富地域を特認の対象地域として諮る。

環境行政について

問 新ごみ焼却炉の稼働状況と施設に要する人員と経費は。

答 1日当たりの焼却ごみ量は75t、土・日曜日を除き24時間、14名が3交替制である。焼却経費は1カ月約1,350万円。

問 公害防止協定項目と数値及び国が定める基準との比較は。

答 ダイオキシンを中心に、国基準の5〜10分の1以下で公害防止協定を結んでいる。

教育環境の整備について

問 川口中学校全面改築の考えはどうか。

答 財政的な問題で現段階ではいつと早いことには言えないが、下水道を早期に完備して地元、教育委員会と相談したい。

自民クラブ

立道 正規 有 幸男
永田 時夫 和田 久

結核患者の状況と対策は

問 結核患者が急増したと言われるが、市の状況と対策は。

答 本市の登録患者数は1998年は28人。16才以上を対象に年間に延べ105会場で検診を行っている。中学生以下はBCG予防接種を実施している。現在、結核患者の病床は、市民病院6階混合病棟に10床あり、十分に注意して使っているの院内感染はない。

介護保険制度への不満と対応

問 介護保険制度への不満と事業者への対応は。

答 介護保険制度の導入にあたり、報酬額決定などが遅れる中で、サービス事業者の皆さんは、行政以上に苦勞された。アンケートで9割の人が満足されたのは事業者の皆さんの努力の賜もの。今後、制度が安定する中で、ケアマネージャーのサービス管理が十分機能することにより、事業者と利用者の信頼関係も深まると思う。アンケート結果は事業者に配布して参考にしていただく。

子どもたちの健康と発育状況は

問 ぜんそくにかかっている子が多いと聞かすが、市の状況は。

答 ぜんそくやアトピー性皮膚炎は、食生活、生活習慣などが変わった関係で増加している。市内は14、15年前から福知山医師会と福知山西南ロータリークラブが、ぜんそく児童のサマーキャンプを実施している。

問 幼・小・中学校生の発育状況は。

答 身長、体重とも最近横ばいの状況で、大きな変化はない。視力は学年が進むにつれて悪くなっている。情報機器やテレビゲームなどが原因している。虫歯は年々減少傾向で、家庭での歯みがきが実っている。

林業の現状と課題

問 森林の機能や実態を理解することが大切だと思ふが。

答 本市の70%は森林である。国土と環境の保全の面からも大切にしなければならぬ。

問 市有林の面積と管理は。

答 面積的には370haの内、人工林は350haである。最近雪害が多い。35年生を目標に杉1、800本、松2、200本程度間伐を行っている。

日本共産党市議員団

ごみ減量のために、市民負担を求めないごみ指定袋化を

問 ごみの指定袋化は、「分別をすすめる」「収集作業の安全確保をすすめる」上で大切なことだが、この不況のもとで市民負担を増やすべきではない。家庭での使用する平均的な枚数までは、袋代の実費に抑えるべきだが市長の見解は。

答 新しい焼却炉の維持に経費がかかる。指定袋代の実費に加えて、一部を市民に負担いただきたい。

問 いま、自治会で説明会を開いているが、その中で出される市民の声を参考にすることが大切であり、また、リサイクルの体制を整えてからスタートすべきで、9月議会での条例提案は時期尚早ではないか。さらに、不燃物の中で、トレー

問 森林組合作業班の年令は。

答 年令別には、20才代5人、30才代1人、40才代3人、50才代3人、60才代10人、70才代4人で平均53才となっている。

仲林 清貴
藤井 節子
足立 進

やペットボトルなどのリサイクルを実施すべきだが。

答 時期尚早という意見だが、自治会で、8月中までに市民のみなさんの意見を聞き、9月議会には提案したい。トレーやペットボトルのリサイクルはできる限り早い時期に取り組みたい。

介護保険制度の充実、保険料の減免を

問 介護保険がスタートしたが、デイサービスやショートステイ、訪問看護、グループホーム、訪問リハビリなど、サービスで供給が不足しているのではないか。

答 デイサービスやショートステイはサービス事業者の状況を調査したが、ほぼサービスは充足している。ほか整備中。

問 いよいよ10月から保険料の徴収が始まるが、せめて所得の少ない、住民税非課税世帯で老齢福祉年金受給者の保険料は、市で負担し免除すべきではないか。

答 気持ちは十分聞かせていただいた。

中山間地の農業・商業やまちづくりについて

問 今の農政が続けば、日本の農業は衰退の一途をたどるが、中山間地の荒廃農地への対策の問題点や改善方向は。

答 中山間地の直接支払制度は、5年間取り組んでいけるのか、また範囲はどうするのが課題になっている。省力でできる作物の検討をしていかなければならない。

問 市内商店街や旧市街地の活性化のためにも、高齢者や障害者対策と結びつけた取り組みを早急にすすめるべきだが。

答 シルバーチャレンジショップなど取り組んでいきたい。

抜本的な冠水対策

問 昨年の大雨被害から、弘法川流域の抜本的な内水対策のため

に、弘法川に新たなポンプ場の設置を国に求めるべきだが。

答 建設省に、新たなポンプ場の設置を求めている。

校庭開放の充実を

問 現在実施されている7校以外で希望があれば校庭開放を実施するのか。また、老朽化している校庭開放の建物で、昭和・修斉小は今年度改築されるが、大正校はどうなるのか。



改修が待たれる大正小学校校庭開放教室

答 PTA・学校・自治会等と協議していきたい。大正校は13年度に計画している。

乳幼児医療制度の拡充を

問 就学前の子どもたちまで医療制度の引き上げを行い、少子化対策をすすめる考えは。

答 いいことではあるが、市単独では無理。

一般施策化した奨学金の問題点

問 一般施策として今年度からスタートした奨学金制度に、同和人権問題が付帯条件として盛り込まれているのは問題ではないのか。

答 もともと同和対策として取り組んできた奨学金は、多少なりともその精神を引き継がなければならない。

国道429号の安全対策を

問 今安の交差点、額塚の歩道整備など、安全対策が必要だが進捗状況は。



カーブミラー設置等で安全対策を(国道429号今安地内)

無党派

芦田 廣
荒川 浩司

福知山駅前駐輪場増設を

問 私の調査では、平成12年6月25日(日曜)午前8時40分、973台の自転車を数えた。最近では民間の自転車預かり所が減少傾向であり、自転車の利用者も増えている。市長は以前に駐輪場の収納台数は550台と答弁されているが、駐輪場増設の考えは。

答 現在の3台分の駐車場スペースを駐輪場にする。他は考えていない。



車道・歩道を占拠する自転車

総務委員会

当委員会に付託された議案は、平成12年度一般会計補正予算、福知山市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について・福知山市消防団員公務災害等補償条例の一部を改正する条例の制定について・福知山市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について、の4議案である。

一般会計補正予算では、非常勤消防団員の退職報償金の支給に関する条例の一部改正に伴う消防費253万円は、4月30日付けで退団された114名分と中途退団見込み者6名の退職報償金、当初予算3、120万円に対する不足額の計上である。固定資産評価審査委員会条例の一部改正は、口頭審理における必要な文言の整理等である。

また、福知山市消防団員等公務災害等補償条例の一部改正は、消防団員が消防団活動中に事故に遭った場合に、その損害補償をするものであり、いずれも政令の改正に伴うものである。

以上、当委員会に付託された4議案は、慎重に審査した結果、全員賛成で原案どおり可決した。

市民厚生常任委員会

当委員会では付託された二つの議案について審査を行った。

まず、平成12年度福知山市一般会計補正予算案中、民生費の社会福祉費に計上された精神障害者訪問介護試行的事業実施に係る経費について審議した。この事業は、福知山市社会福祉協議会に委託するもので、委託期間は平成12年の10月から平成13年の3月まで。対象者を5人に想定して、滞在型52万5、600円、巡回型121万5、500円、合計174万1、100円の委託料を見込み、180万円を予算化したとの説明を受けた。府の基準単価に従い積算したもので、対象者は、介護評価検討委員会で決定される。試行的事業ではあるが、府との連携、協議、体制整備をはかり、平成13、14年度につながるよう、内容の充実と継続を強く求める要望が出された。

議第4号平成12年度福知山市老人保健医療事業特別会計補正予算案について、過年度分の支払い基金返還を補正するものであり、特に報告すべき事項はなく、当委員会に付託された全議案は、全員賛成でいずれも原案通り可決した。

経済委員会

議第3号平成12年度福知山市一般会計補正予算、議第8号工事請負契約について、7月11日に審査した。議第8号福知山市終末処理場B系水処理施設増設工事の請負契約について、処理場整備全体計画の内、すでに完成しているA系に加え、B系内の1系列、1日処理能力9、850立方メートル分の工事を契約するもの。落札業者、落札価格、施設の概要の説明を受け、地元業者への下請け件数や金額、業者名、施設完成後の水質検査の場所の質問などがあり、契約完了後に状況が把握できること、水質検査は、保健所の指導を受け放流直前で検査するとの答弁があった。

議第3号は、雲田地区ほ場整備に関する換地清算金、波江地区揚水機取り替えに要する歳入歳出補正について説明を受けた。雲田地区土地処分単価は地元中心で決定され、一反当り80万〜100万円程度、受益者数は53名ある。土地改良施設維持管理適正化事業は地元波江改良区の拠出金を5年間拠出して事業費に充当するものであり、ポンプの耐用年数はメーカーが機能診断をしている。

以上で審査を終わり、議第3号、議第8号ともに賛成で原案通り可決した。

文教建設委員会

当委員会に付託された平成12年度一般会計補正予算について、慎重に審査した。審査にあたり付託された教育委員会関係の、こころ生き生き体験活動推進事業にかかる補正予算について、理事者から中学2年生を対象とし、地域の事業所などの協力を得て職場体験や農業体験を通して、倫理観や責任観、思いやりの心を育てようというもので、事業費は110万円。京都府の補助を受けて実施するものであると説明がなされ質疑に入った。

対象の2年生とは全員であるのか、事故等にかかる保険の関係、さらに成果のとりまとめ方等に対する質問に対し、原則として2年生男女全員であること、保険は生徒に対するものだけに限らず企業等の機材の損傷に対するものもかけてゆく、また、従来は短時間であったが、今回は前後半に分けてトータル4日以上にわたり学校学年毎に工夫し、地域の皆さんの協力を得ながら実施する。前半終了時の反省点を後半に生かし、年度の終わりに学校ごとのまとめを作る、との答弁があり、いろんな問題が起きている現在、取り組みを拡大する要望も出された。

以上で審査を終わり採決の結果全員賛成で可決した。

議
会
日
誌

〔6月〕8月

《6月》

8日 由良川改修促進特別委員
会
21日 議会運営委員会、各派幹
事会
28日 定例会開会（提案理由の

《7月》

6日 本会議（議案質疑、一般質問）
7日 本会議（一般質問）
10日 本会議（一般質問）
11日 各常任委員会
18日 本会議（委員長報告、採
（付託議案の審議）
29日 説明）、全議員協議会
長野県岡谷市議会視察来
市

6月定例会で提出した意見書

道路特定財源制度堅持と道路整備に関する意見書

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基本的な施設であり、国土の均衡ある発展のためには、その整備が必要不可欠であります。

しかしながら、最近、政府税制調査会において「道路特定財源を一般財源化する」「道路を造ることが環境破壊である」といった議論がなされていると報道されています。これは、道路整備を進めることが地方の活性化を促すとともに、高齢化・過疎化が進む中山間地に暮らす人々の定住環境を整えることになること、更に交通渋滞の解消につながることで、環境改善にも資するものであること等を理解されていない一方的な議論であります。国道9号をはじめとする道路網のより一層の整備が、喫緊の課題である福知山市にとっても、到底容認できるものではありません。

よって、国におかれましては、道路特定財源制度を堅持しつつ、一般財源の大幅な投入により、強力に道路整備を進めていただきますよう強く要望します。

提出先 内閣総理大臣・大蔵大臣・建設大臣・自治大臣

《8月》

1日 岐阜県羽島市議会視察来
市
2日 由良川改修促進特別委員
会要望活動（京都府、建
設省近畿地方建設局）
7日 議会だより編集委員会
8日 議会運営委員会
9日 文教建設委員会管内視察
11日 議員研修会
（地方自治講演会・綾部市）
21日 議会だより編集委員会
22日 北部四市議会協議会（福
知山市）、各派幹事会
23日 由良川沿川三市一町委員
会要望活動（建設省近
畿地方建設局・東京本
省、大蔵省、23日、24日）
29日 一市三町議会議長会
議会運営委員会行政視察
（小平市・東久留米市、
29日、30日）
岡山県笠岡市議会視察来
市

決）、各派幹事会
議会だより編集委員会
近畿議長会理事會（大阪）
19日 由良川沿川三市一町正副
委員長会議
25日 近畿議長会事務局職員研
修会（大阪）
27日 非核宣言自治体協議会全
国大会（長崎、27日、28日）

9月定例会の予定

〔会期9月8日～9月29日〕

8日 本会議（開会）
提出議案の説明
19日 本会議
提出議案の質疑
20日 一般質問
21日 本会議
一般質問
22日 常任委員会（議案の審査）
25日 常任委員会（議案の審査）
28日 本会議
各常任委員長の審査報告
採決
29日 会期
※9月定例会に上程する請願の
締切は9月19日です。

編集後記

例年になく厳しい暑さが続き、水不足による農作物の被害も心配されますが、市民生活への影響がないことを祈っております。衆議員選挙のため、市議会定例会が例年より遅く開会され、議会だよりをお届けするのが遅くなりました。限られた紙面の中で、議会の動きを分かりやすい形で市民の皆様にお知らせすることが、私達の仕事です。紙面作りを生かせるご意見や、ご要望をお寄せ下さい。